

「ティッシュアレーを用いた腫瘍関連遺伝子の病理組織学的解析（課題番号2381）」研究への協力をお願い

東京大学医学部附属病院病理部では、当院を受診され、病理組織検体を採取させていただいた方を対象に、標本を作製し、患者さんの病理診断を行っております。病理組織標本は患者さんの病変のある部分から直接採取されるものであるため、画像検査や血液検査等の他の手段では得られない様々な情報を知ることができます。これらの情報を元に研究を行うことは、各種の疾病に対する知見を深める上で重要です。

当院病理部、及び東京大学大学院医学系研究科人体病理学教室では、当院で腫瘍の切除手術を受けられた患者さんの病理組織標本の一部からティッシュアレー(多数の患者さんの病理組織標本を一つのパラフィンブロックに集めたもの)を構築し、免疫組織化学的手法やin situ hybridization法等により、腫瘍に含まれるDNAやRNA、タンパクを調べ、それらの悪性度や予後等に与える意義の解明を目的とした研究を行っております。

この研究は過去の診療記録、及び通常の病理診断後の標本を対象として行われますので、患者さんご本人の診療内容には全く影響を与えませんし、不利益を受けることもありません。解析にあたっては、個人情報は匿名化させていただき、その保護には十分に配慮いたします。学会や論文で結果を発表する際には、個人の特定が可能な情報は全て削除されます。

この研究に関して不明な点がある場合、或いはデータの利用に同意されない場合には、以下にご連絡頂きたいと存じます。ご家族及び後見人の方からのご連絡も承ります。なお、本研究は当院の倫理委員会の承認を得ております。また、ご自身の検体の研究への使用をお断りになった場合でも、将来にわたって患者さんが当院における診療上の不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

2017年05月22日

連絡先：東京大学医学部附属病院病理部 深山正久（研究責任者）

東京都文京区本郷7-3-1

Tel：03-5841-3343

Fax：03-3815-8379